

評価シート①

大項目「教育委員会の活動状況」

中項目	点検内容	活動指標	22年度	23年度	比較増減	自己評価結果
(1)教育委員会の構成	①構成数	人	5	5	0	適正な規模を維持している。
	②年齢別	歳	55.0	56.4	1.4	(各年度12月23日現在)
	③性別	男女比率(%)	40	40	0	適正な規模を維持している。
(2)教育委員会会議の開催状況	①会議開催数	回	29	23	△6	教育委員会会議規則では、毎月22日に定例会を開催する旨の規定をしており、最低でも月1回(年12回)の開催が義務付けられている。昨年から6回の減(前期4回減、臨時2回減)となっており、前期教育委員会の今後の進め方について、平成24年3月の定例教育委員会で協議し、一定の方針を固めたところである。
	②延出席数(教育長除く)	人	113	92	△21	延出席数の減は、開催回数の減によるものである。1回あたりの平均出席はH22 3.9人 ⇒ H23 4.0人 となっており、委員の欠席なく開催したため問題はない。
	③教育委員会開催における運営上の工夫					0 説明に時間を要する案件の資料の事前送付、また、前期教育委員会をテーマを持った勉強会としたことによって、議論の活性化をはかることができた。
(3)教育委員会会議の情報公開の状況	①会議傍聴数	人	0	0	0	より見やすいHPの構成を工夫するなど、さらなる努力が必要である。
	②議事録等の公表状況	件	12	12	0	定例教育委員会の議事録については、全てHPでの公表を行った。情報公開請求については行われなかったものの、会議の運営上の工夫と重なる部分はあるが、議事要録の確認時期・確認方法を明らかにしたことで、事務の滞りによる議事要録のHPへの掲載漏れ等が生じない体制とした。

評価シート①

中項目	点検内容	活動 指標	22年 度	23年 度	比較増 減	自己評価結果
(4)行政等が主催する行事への出席数(教育長除く)	①参加回数	回	131	146	15	行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。前年度から15回の小規模な増であり、活動量としては、昨年度とほぼ同様であると評価できるため、その職責を果たしていると評価できる。
(5)議会出席状況	①議会の出席状況(教育長除く)	回	35	38	3	全ての議会に出席している。また、教育委員長だけでなく、教育委員全てがまんべんなく出席し、市民代表としての議員各位の考え方に接し、教育行政について考える機会としており、今後も継続していくものとする。
(6)首長との連携	①意見交換会の状況	人	4	4	0	平成23年10月25日に意見交換会を開催し、教育委員全員の参加となった。今後も継続して機会設定を行い、また開催の時期についても、当初予算編成時期にあわせて開催することで、教育委員会の考え方を首長に伝えることが重要である。
(7)教育委員の自己研鑽	①研修会等への参加状況	回	69	110	41	研修に関し、出席努力・自主判断の区分をしている。自主判断による研修への参加回数は、平成22年度が61回であったのに対し、平成23年度が100回となり、39回の大幅な増となった。積極的な資質向上に努めていると判断できる。
(8)学校訪問	①学校訪問(A) 訪問率	%	98.2	97.9	△ 0.3	学校訪問(A)については殆ど欠席がない状況であった。
(9)教育に関連する外部団体等との意見交換	①意見交換等回数	回	20	34	14	6月に開催された議員との顔合わせ会の皆増、また、教育委員会独自で企画した文教厚生委員会との意見交換会開催の皆増等による増である。市議会議員各位のご意見をうかがうことで、教育委員会会議の際の意見にも反映することができた。